

授業科目名	社会的養護 I	担当教員名	入江 実
必修/選択	必修(保育士資格)	開講学年・学期	2年 前期 (※令和2年度 開講なし)
科目区分	保育に関する科目	単位数	2単位
施行規則に定める科目区分等	保育の本質・目的の理解に関する科目(別表1)	授業方法/担当形態	講義 / 単独
		特記事項	※実務経験のある教員等による授業 児童養護施設主任児童指導員としての実務経験を活かして、具体的な実践記録を紹介して授業を行っている。
授業の到達目標	核家族化の進行が家庭での扶養能力を低下させ、子育てと介護が社会問題化してきた。この領域の支援策として社会的養護の充実がなされている。子育てには保育士、介護は介護福祉士という社会的養護の専門家の役割や課題を理解してもらう。 (1)現代社会における社会的養護の意義と歴史的変遷について理解する。 (2)子どもの人権擁護を踏まえた社会的養護の基本について理解する。 (3)社会的養護の制度や実施体系等について理解する。 (4)社会的養護の対象や形態、関係する専門職等について理解する。 (5)社会的養護の現状と課題について理解する。		
授業の概要	講義形式で、①現代社会における社会的養護の意義 ②社会的養護と児童家庭福祉 ③施設養護の実際 ④社会的養護の現状と課題を学習する		
テキスト	改訂「養護原理」入江実著 (さんえい出版)		
参考書・参考資料等	特になし		
成績評価の方法	○参加意欲：20% ○新聞記事によるレポート：25% ○定期試験：55%		
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	講義の進め方		
第2回	第14章 現代社会と児童養護① (P. 105～116) (作業：発表者の順番等決める)		
第3回	第14章 現代社会と児童養護② (P. 105～116)		
第4回	第14章 現代社会と児童養護③ (P. 105～116)		
第5回	第15章 施設養護の原理と機能① (P. 117～127)		
第6回	第15章 施設養護の原理と機能② (P. 117～127)		
第7回	第15章 施設養護の原理と機能③ (P. 117～127)		
第8回	第16章 施設養護と社会福祉援助技術① (P. 129～134)		
第9回	第16章 施設養護と社会福祉援助技術② (P. 129～134)		
第10回	第16章 施設養護と社会福祉援助技術③ (P. 129～134)		
第11回	第18章 地域社会と家庭① (P. 147～160)		
第12回	新聞記事を教材とした学習		
第13回	第18章 地域社会と家庭② (P. 147～160)		
第14回	第18章 地域社会と家庭③ (P. 147～160)		
第15回	全体のまとめ		
定期試験	筆記試験		